

《小学校中学年の部》

「安心してくらせる社会」

有田市立箕島小学校 4年

池田 達哉くん



今年の夏、盲導犬を連れた、目に障害を持つ男性が駅のホームを歩いていたら、ホームから転落し、電車にはねられて、亡くなるという事故がありました。

原因は、男性が歩いていたホームの点字ブロックの途中に柱があり、盲導犬がその柱をよけた為です。そのため男性はホームから転落してしまったのです。僕はこの事を聞いて疑問に思ったことが二つあります。

一つ目は、男性がホームから落ちそうになった時、なぜ、だれも気が付かないのでしょうか。僕は考えてみました。その結果、周りの人達は、目に障害を持つ人に無関心だったのではないかと思いました。

二つ目は、点字ブロックの途中に柱があったという事です。ふつうは柱が先に造られていて、後から点字ブロックをはられるので、この途中に柱があるはずはありません。とてもふしぎに思います。

ちなみに点字ブロックというのは、目の不自由な人のために、道にはってある黄色の線の事です。線状のブロックは線にそって進めと言う意味で点状のブロックは止まれと言う意味だそうです。

これらの事で、これからは僕も目に障害がある人だけでなく周りの人に無関心にならず危険な時は知らない人でも声をかけられる人間になりたいと思いました。そうすればこのような悲しい事故は少なくなると僕は思います。そしてみんなが安心してくらせるような社会を作りたいです。